

禅会だより

広島禅会について

小島 光禅

(中国支部・広島禅会)

月例静坐会の発足

早いもので、平成13年7月に広島の月例静坐会を始めてから、丸7年になりました。当時まだ高校1年だった浄円と二人で坐り始めました。

会場は、広島市のJR横川駅前にある広島市西区民文化センターで、毎月1回行なっています。この文化センターは、1年先まで予約ができ、宗教法人人間禅教団の坐禅会と公言しても全く問題のないことが気に入っています。場所の選定に当たっては「交通の便が良く、集まりやすい」ことを優先しました。

期日は、基本的に月末の土曜日、夜6時から8時半です。6時から7時までは30分を1炷香として2炷香坐り、7時から座机を出して「輪読会」に移ります。「輪読会」では、皆で順番に人間禅関係の本を読んでいます。輪読する本は、初めは『学道用心集』、次に小野円照老師の『禅入門』、今は芳賀洞然老師の『禅入門』と、3冊目になりました。

何年かして家内も参加してくれるようになり、今は家族の月例行事にもなっています。参加者は大体6、7人位です。時々、終了後に会食をしています。2,000円程度の割勘で行なっています。

センターには用具を置いておけないので、警策・携帯用の香盤・引磬・柝きんたくに『大聖文殊師利菩薩』の短冊と色紙掛等の一式をカバンに仕

込んで毎回持ち込んでいます。一応、道場の作法どおりに坐るようにしています。

広報としては、新聞3社のコラム欄に行事案内を投稿していますが、スペースがある時に記事にしてくれます。また中国道場のホームページにも案内文を掲載しています。その他「洗心書房」という仏教書専門店に、『禅』誌と年間行事案内のパンフレットを置いてもらっています。

第一回広島参禅会の開催

このたび、初めて参禅会を開催してみて、準備の大変さがしみじみとよく分かりました。

まず賛同者の8人はどうにかなりましたが、会場の候補地がなかなか見つかりませんでした。

市内や周辺の公共施設・寺宮などを次々当ってみました、とにかく何だかんだと断られました。炊飯をして合宿できる所は、なかなかありませんでした。そして、どうにか今回の明星院会館をお借りすることができたわけですが、風呂がないので、結構遠くの銭湯まで行っていただきました。それでも、広島駅から歩いて15分程度という恵まれた場所となりました。

次に、予想に反して様々な物が必要になったことです。

お寺に座布団と長机が必要数あったので、後は寝具と食器程度を準備すればよいのではと思っていたのですが、結局引越



参禅会を円了して

し並みの荷物が要りました。

何とかやれましたのは、必要な事務手続きや細々とした準備作業を、浄円や家内が手助けしてくれたおかげです。また、四国支部や岡山から参加していただいた多くの方々のおかげと感謝しております。

このたびの広報として、試しに広島市内の剣道用具店3店舗に無得庵小川刀耕老居士の『剣と禅』や『禅』誌と一緒に「広島参禅会」のパンフレットを置かせてもらうことにしました。しかし、今回これを見て来た人はいなかったようでした。またこの他にも、茶道上田流の家元のご好意で、その季刊誌に参禅会とこうとうあん洪濤庵老師についての簡単な紹介文を掲載させていただきました。

今後の方針等

とにかく毎年2回程度の広島参禅会の開催を粛々と維持していくつもりです。そして少しずつ地元広島の参加者を増やし、早く地元の皆で役割分担して行事を運営できるようになりたいものと願っています。

また会場が借家のため、日程が合わなかったり、何かの都合で断られたりすることなどが今後もあり得ますので、できれば何力所か代りの会場を選定しておくことも必要だと思っています。取りあえず三原市郊外の禅寺を1カ所見つけていますが、その他にも広島市郊外の空いた古民家だとか、県北の廃校で合宿施設に改築した所などを当ってみようと思います。

今後、もし余力があれば、月例静坐会場で内参会や講演会などを企画してみてもよいかもかもしれません。

第一回広島参禅会の打ち上げは、広島からの参加者有志で、今年広島市内にオープンした「世界の山ちゃん広島店」(東海支部ご推奨)で行いました。
(本名/達也)